



警戒レベル④で  
全員避難！！

## 適切な避難行動をとりましょう！

日本では毎年のように、大雨や台風などによる災害が発生しています。そのような中、「防災情報はいろいろあるけれど、どのように判断すればいいの？」との声を耳にします。

現在、住民の皆さんが災害発生の危険度を直感的に理解し、的確に避難行動ができるようにするため、避難に関する情報や気象情報等が5段階の「警戒レベル」で整理されています。

	警戒レベル	避難行動等	避難情報等	防災気象情報
	警戒レベル <b>5</b> 命を守るための 最善の行動をとる	既に <b>災害が発生</b> している状況です。 <b>命を守るための最善の行動</b> をとりましょう。	<b>災害発生情報</b> 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令（市町村が発令）	<b>大雨特別警報</b> <b>氾濫発生情報</b> 等
	警戒レベル <b>4</b> 危険な場所から <b>全員避難</b>	<b>速やかに危険な場所から安全な避難先へ避難</b> しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や自宅内より安全な場所に避難しましょう。	<b>避難勧告</b> <b>避難指示(緊急)※</b> ※地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令（市町村が発令）	<b>土砂災害警戒情報</b> <b>氾濫危険情報</b> 等
	警戒レベル <b>3</b> 危険な場所から <b>高齢者等は避難</b>	<b>避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者</b> は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	<b>避難準備・高齢者等避難開始</b> （市町村が発令）	<b>大雨警報</b> <b>洪水警報</b> <b>氾濫警戒情報</b> 等
	警戒レベル <b>2</b>	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの <b>避難行動を確認</b> しましょう。	-	<b>大雨注意報</b> <b>洪水注意報</b> <b>氾濫注意情報</b> 等
	警戒レベル <b>1</b>	災害への心構えを高めましょう	-	早期注意情報 （警報級の可能性）

市町村が発令する避難情報(警戒レベルと合せて発表)で確実な避難をしましょう!  
気象庁等から発表される防災気象情報を早めの避難行動の判断に役立てましょう!

また、避難場所での感染症対策を考慮して、

- 安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません!
- 安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう!
- マスク・消毒液・体温計が充分でないことも想定して、避難する際は自ら携行しましょう!